

各位

会社名 株式会社 きよくとう
 代表者名 代表取締役社長 牧平 直
 (コード: 2300、東証 スタンダード)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 弓削 道哉
 (TEL. 092-503-0050)

特別損失の計上及び2022年2月期通期業績予想値と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2022年2月期決算において、下記の通り特別損失の計上を行うとともに、2021年10月8日に開示した2022年2月期通期(2021年3月1日～2022年2月28日)の業績予想値と実績に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 特別損失の計上の内容

当社の保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて時価が著しく下落したため、減損処理による投資有価証券評価損377百万円を計上し、加えて、保有する固定資産について「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、2022年2月期決算において減損損失14百万円を計上いたします。

2. 2022年2月期通期(2021年3月1日～2022年2月28日)業績予想値と実績との差異

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	当期純損失(△)	1株当たり 当期純損失(△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,600	△310	△100	△132	△25.08
実績(B)	4,580	△444	△202	△614	△116.89
増減額(B-A)	△19	△134	△102	△482	—
増減率(%)	△0.4	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2021年2月期)	4,884	△624	△406	△756	△143.79

3. 通期業績予想値と実績との差異の理由

当社は、春の衣更えの最需要期に新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が続けて発出されたことに加えて、8月には記録的な大雨が長期間続いたことやオリンピック期間中による外出控えなどの影響を受け、来店客数の減少とスーツやワイシャツなどのビジネスウェアを中心としたクリーニングの入荷が大幅に減少したことにより、売上高が大幅な減収となりました。

以上の結果、売上高につきましては、4,580百万円となり予想値に比べ19百万円(予想値比0.4%)の減収となりました。

利益につきましては、前事業年度から実施している工場と店舗の統廃合による事業効率化の効果もありましたが、売上高の減少が大きく響き、営業損失は444百万円となり予想値に比べ134百万円(前回予想は営業損失310百万円)の減益、経常損失は202百万円となり予想値に比べ102百万円(前回予想は経常損失100百万円)の減益、当期純損失は614百万円となり予想値に比べ482百万円(前回予想は当期純損失132百万円)の減益となりました。

以上